

平成 27 年 度

大 阪 市 高 速 鉄 道 事 業 会 計 予 算 書

平成27年度大阪市高速鉄道事業会計予算

(総則)

第1条 平成27年度大阪市高速鉄道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

	高速鉄道	中量軌道	合計
(1) 運転車数(一日平均)	988 両	59 両	1,047 両
(2) 運転キロ(一日平均)	311,121 km	13,734 km	324,855 km
(3) 乗車人員(一日平均)	2,280,000 人	73,000 人	2,353,000 人
(4) 主要建設事業の概要			
エレベーター等設置工事		2,153,054	千円
駅施設整備工事		6,274,225	
車両改造等工事		6,434,835	

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

収 入		
第1款 高速鉄道事業収益		176,131,349 千円
第1項 営業収益	163,800,384	千円
第2項 営業外収益	10,435,957	
第3項 特別利益	1,895,008	
支 出		
第1款 高速鉄道事業費用		150,279,287 千円
第1項 営業費用	128,008,632	千円
第2項 営業外費用	20,716,209	
第3項 特別損失	1,354,446	
第4項 予備費	200,000	

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める（資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 49,664,589千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額 2,567,563千円及び損益勘定留保資金 47,097,026千円で補てんするものとする。）。

		収	入	
第1款	高速鉄道事業収入			30,504,461 ^{千円}
第1項	企業債	21,693,000	^{千円}	
第2項	補助金	5,404,009		
第3項	建設受託工事収入	1,592,030		
第4項	固定資産売却代金	481,559		
第5項	雑収入	1,333,863		
		支	出	
第1款	高速鉄道事業費			80,146,961 ^{千円}
第1項	建設改良費	40,548,385	^{千円}	
第2項	企業債償還金	37,875,296		
第3項	建設受託工事費	1,592,030		
第4項	出資金	40,250		
第5項	繰替金	91,000		
第2款	共用施設費			22,089
第1項	建設改良費	22,089		
	合 計			80,169,050

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
高速鉄道建設事業	平成 年度 28～29	35,240,000 ^{千円}
貯蔵品購入	28	640,000
合 計		35,880,000

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
高速鉄道建設事業	21,693,000 ^{千円}	普通貸借又は証券発行(他の地方公共団体との共同発行を含む。)	年9.5%以内 (ただし、利率見直し方式で借り入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率)	起債年度の翌年度から据置期間を含め、40年以内に償還する。ただし、本期間中に未償還額の範囲内において借り替えることができる。

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、12,000,000千円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

- (1) 消費税及び地方消費税に不足が生じた場合における営業費用及び営業外費用の間の流用

(他会計からの補助金)

第9条 高速鉄道事業助成のため、一般会計から、この会計へ補助を受ける金額は、4,676,725千円である。

(貯蔵品購入限度額)

第10条 貯蔵品の購入限度額は、1,300,000千円と定める。

平成27年2月24日提出

大阪市長 橋 下 徹